

PRO MUSICA NIPPONIA 200 ~200の創造・未来へ~

第202回
定期演奏会
The 202nd
Regular Concert

日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

— 創造の発展的継承 —



2011年1月26日[水]
午後7時開演
津田ホール



Tsuda Hall

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
助成：平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)
社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)
財団法人朝日新聞文化財団

■ 日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail：office@promusica.or.jp



文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

一、**雪舟讃I** 広瀬量平作曲(1998年)

[笛] 松尾慧(助演) [尺八I] 阪口夕山 [尺八II] 原郷隆 [尺八III] 元永拓
[琵琶] 欠保田晶子
[箏I] 桜井智永 [箏II] 佐藤里美
[十七絃] 久本桂子
[打楽器] 黒坂昇 望月太喜之丞 盧慶順 山内利一
[指揮] 稲田康

雪舟は三絃が日本に伝わって広まるはるか前の人故に三絃は省いた。彼は作画に入る前に尺八を吹定したとの言い伝えもある通り、この楽器は禪の法器でもあった。山口の瑠璃光寺、同じくアトリエのあった雲谷庵、光市の普賢寺の庭、相国寺をはじめとするゆかりの地や、多くの水墨画や書に接し、圧倒されつつ、とりあえずこの(I)を作曲した。
(作曲者 初演のプログラムより)

二、**闇市案内図** 鷹羽弘晃作曲(2006年)

[尺八I] 竹井誠 [尺八II] 原郷隆 [箏] 西原祐二
[三味線] 山崎千鶴子 [琵琶] 藤高理恵子
[箏I] 久本桂子 [箏II] 丸岡映美
[打楽器] 尾崎太一 島村聖香
[指揮] 稲田康

「闇市」—この言葉の持つ質感にすごく惹かれる。
これは空想の闇市を訪ねた私の紀行である。そこは、まさにフェュージョナルな場であり、あらゆる事象が生まれたり消えたりしている。今回ようやく、入口に達し、一歩足を踏み込んだところだ。深淵へ、今後も旅をつづけていく。
私の初めての邦楽器のための作品が憧れの「日本音楽集団」への曲になろうとは夢にも思っていなかった。こんなに贅沢で幸せなことはない。
(作曲者 初演のプログラムより)

三、**金雀** 譚盾作曲(1991年)

[尺八I] 藤崎重康 [尺八II] 阪口夕山 [琵琶] 田原順子
[二十絃] 桜井智永 [十七絃] 久本桂子
[打楽器] 盧慶順
[指揮] 稲田康

「金雀」は、私たちを取巻く目に見えない美であり、その意味がどんどん転換していってしまう‘夢’の輝くような印象を表現しています。この作品は、精神を集中し、聴衆に対面した指揮者と共に円弧に位置した演奏者が、楽器、声、静寂を用いて行う儀式に似ています。通常の音楽における休止としての休符は、ここでは豊かな演奏行為の価値として発展しています。私は指揮者を見る訓練で、音楽構造上の間を形創ることにより、音のない音量が存在することを見出しています。演奏行為における無音のダイナミクスというもの、その存在をここに表現してみたいと思っています。
(作曲者 初演のプログラムより)

- 休憩 -

2010年度日本音楽集団団員募集

2011年3月18日(金)に

入団オーディション(2010年度)を実施いたします。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.promusica.or.jp/> TEL03-3378-4741

四、鉄輪-和楽器オーケストラのための- 高橋久美子作曲(委嘱初演)

〔笛〕松尾慧(助演) 〔能管〕竹井誠
 〔尺八I〕藤崎重康 阪口夕山 〔尺八II〕元永拓 大賀悠司
 〔三味線〕守啓伊子 〔琵琶〕藤高理恵子
 〔箏I〕桜井智永 伊藤麻衣子 〔箏II〕佐藤里美 久本桂子
 〔十七絃〕宮越圭子 丸岡映美
 〔打楽器〕望月太喜之丞 島村聖香
 〔指揮〕稲田康

能の「鉄輪」は、夫に捨てられた女が恨みを晴らすべく、夜ごと丑の刻参りを重ねると、ついには赤い衣を着て顔には丹を塗り、火を燃した鉄輪を頭に戴いた鬼となり、後妻と夫をとり殺そうとするのだが、陰陽師・安倍晴明の祈祷により呼び出された神々に阻まれて「まずこの度は帰るべし」と言い残して姿を消すというストーリーだ。

能では、たとえ怨霊となったとしても、最後には成仏し消え失せるというのが常ではあるが、この鉄輪では「時節をまつべしや(また来るぞ)」というところに、女の執念の深さ、そしてだからこそ悲しみのようなものを感じざるをえない。この世界観を和楽器オーケストラによって表現できないものか?と考えたのである。

能管や尺八等の管楽器は、嫉妬に狂う女の叫びを、また箏、三味線等の糸の絡みは、それゆえの心の葛藤を、そして打楽器はそれぞれの感情を操り、時にはあしらうのである。

さて、この和楽器オーケストラによる「鉄輪」での結末や如何に? 注)能管の一部に一噌流ノットを引用した。

プロフィール

高橋久美子 / 作曲・編曲家(たかはしくみこ)

武蔵野音楽大学音楽教育学科卒業。ピアノ専攻。

クラシックはもとより邦楽、演劇、ミュージカル、映像音楽等ジャンルを超えた作曲活動を国内外で行っている。

また邦楽曲においては、必ずその楽器を購入し習得してから創るというスタイルをとっている。

これまでに箏、三味線、尺八、琵琶、箏、能管、大・小鼓、そして謡等を学ぶ。

作曲を田辺恒弥氏に師事。作曲家グループ<邦楽2010>メンバー、日本歌曲振興会会員、日本音楽集団

団員。http://www.geocities.jp/ktittj/



五、インド旋律による『壁画』 牧野由多可作曲(1973年)

〔笛〕竹井誠 〔尺八I〕元永拓 〔尺八II〕原郷隆 〔尺八III〕大賀悠司
 〔琵琶〕田原順子 久保田晶子 〔箏-A〕桜井智永 〔箏-B〕田村法子
 〔二十絃〕山田明美 〔十七絃〕宮越圭子
 〔タブラ〕黒坂昇 〔打楽器〕尾崎太一 望月太喜之丞 盧慶順 島村聖香
 〔指揮〕稲田康

インドの音楽にかぎらず、すべてのアジア諸国の音楽、イラン、パキスタン、ヨルダン、あるいは中国等々、今日の日本の音楽とのかかわり合いを考えてみると、これは真に興味のつきない問題なのである。

日本音楽集団から作品の依頼があった時、私の頭をかすめたのは、集団の持つあの多彩な楽器編成と、インド音楽の持つ絢爛さとの接点であった。あの編成を生かし切る素材として、私はそこに着想を求めた。此の作品において私はインドの持つ音階を自分なりにとらえて自由な発展と幻想のツバサをはばたかせることとした。したがって、ここには厳密な意味でのインド音楽の再生はない。

曲は四つの楽章に分かれており、

第1楽章 ミステリオーズ、エネルギー

第2楽章 アダージオ

第3楽章 スケルツェンド

第4楽章 ヴィヴァーチェ、ブリランテ

となっている。なお終楽章において、インド音楽の原形に近い型が姿を現わし、単純な旋法とリズムから出発し加速され急迫する伝統的な形成を尊重している。

(作曲者 初演のプログラムより抜粋)

【正会員】 (団員) (楽器別・五十音順)

笛
竹井 誠(尺八)
西川 浩平

箏
西原 祐二

尺八
賀悠司
大阪口夕山
原郷隆康(笛)
藤崎重也
水川壽也
三橋貴風
宮田耕八朗
元永拓
米澤浩
渡辺淳

胡弓
多々良香保里

三味線
在原富士江 ※
杵家七三 ※
坂口美香 ※
穂積大志
養田司郎
守啓伊子
山崎千鶴子

琵琶
久保田晶子
首藤久美子
田原順子
藤高理恵子

細川華鶴子

箏
伊藤麻衣子
久東寿子
熊沢栄利子
桜井智永美 ※
佐藤里春美 ※
島崎春保子
城ヶ崎美保子
田村法子
彦坂恵美子
久本桂子
前川美保子
丸岡映美子
三宅礼子
宮越圭子
山田明美

渡辺正子

打楽器
白杵美智代
尾崎太一
黒坂昇香
島村聖香郎子
仙堂新太
多田恵子
望月太喜之丞
山内利一
盧慶順

指揮
稲田 康
田村 拓男
田村 文生

作曲
秋岸寛久
川崎絵都夫
篠田大介
高橋久美子
福嶋頼秀

楽器・舞台
中島 隆

代表
田村拓男

副代表
尾崎太一

運営委員
元永拓 ☆
川崎絵都夫
穂積大志
桜井智永
久本桂子
久保田晶子
守啓伊子
監事
宮田耕八朗
事務局
中山美穂子
百武幸子
永久名誉団員
長澤勝俊

2011年1月現在
(※印は休団中)
(☆印は運営委員長)

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】 五十音順

[法人]
株式会社全音楽譜出版社
株式会社宮本卯之助商店
NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
株式会社タービュランス

[個人]

青木 隆
青柳 堯枝
青山 光良
浅香 平世
朝吹 英世

安達 眞五
新井 克輔
石井 智子
江西 緑枝
大関 富枝
太田 颯衣

大塚 悦子
川壁 陽子
後藤 藤利
佐藤 反田
四反 郷哲
須郷 哲

添川 浩史
棚野 正見
土井 恵仁
東谷 子義
富山 優博
古館 博

水野 正徳
宮川 慶子
吉田 七重
吉吉 七子
渡波 渡辺
渡波 治

料 愉
に し
も

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792) 8437
URL : <http://kinko-do.com/>
E-mail : tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp> E-Mail office@promusica.or.jp